

学校教育における 食育の果たす役割と課題



～ 次代を生きる子どもたちの幸せのために～

中国四国地域「食育シンポジウム」

平成26年8月6日(水)

13:30～16:30

岡山国際交流センター2階

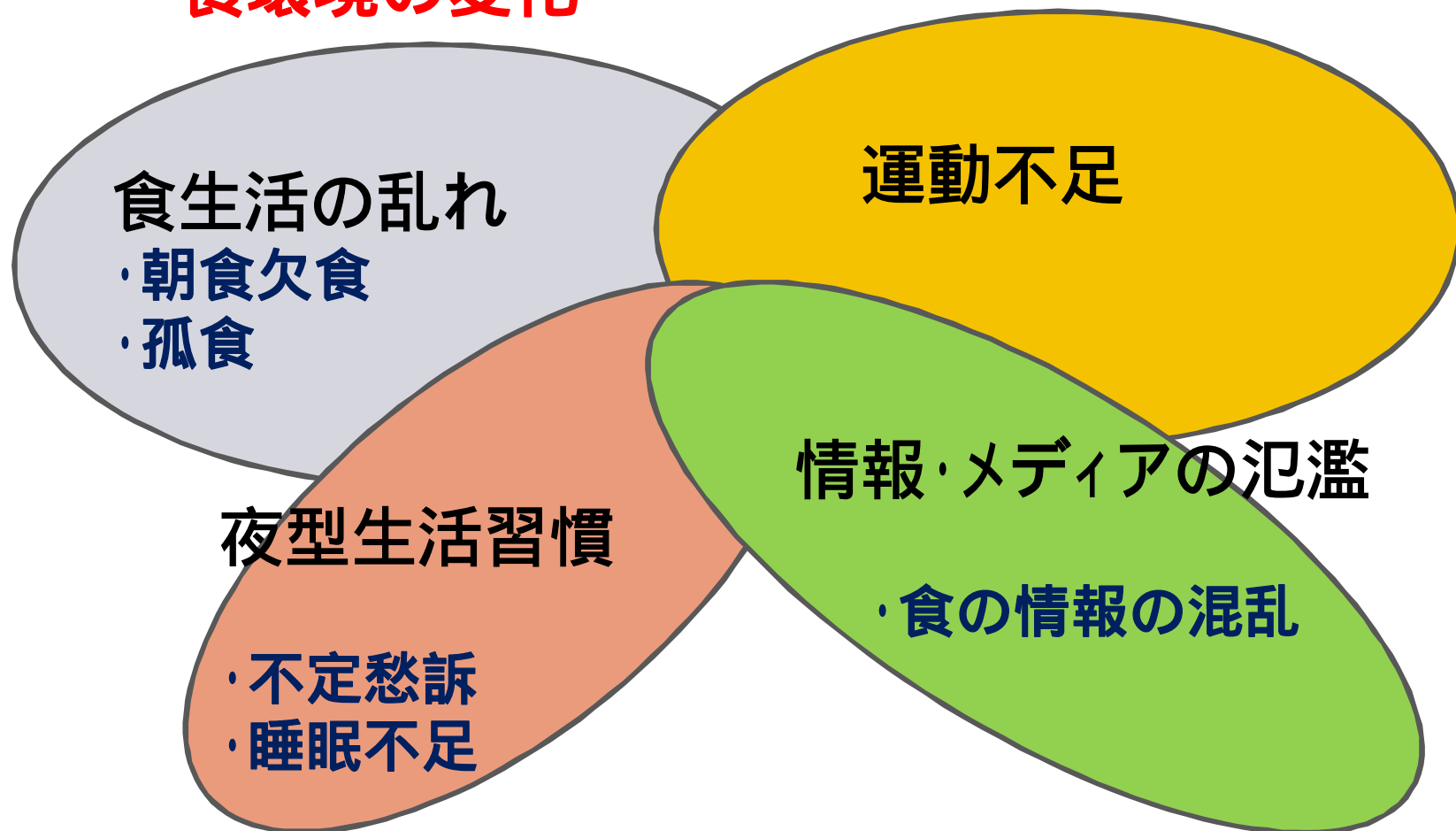
国際会議場



公益社団法人 全国学校栄養士協議会
会長 長島 美保子

1. 子どもたちの生活習慣と食生活の現状

ライフスタイルの変化
食環境の変化



2 . 食育の法的位置づけ 食育基本法

(前文)特に、子どもに対する食育を重視

(第5条)子どもの食育における保護者、教育関係者の食育を重視

(第6条)食に関する体験活動と食育推進活動の実践

(第11条)教育関係者等及び農林漁業者等の責務

第2次食育推進基本計画

(目標)

・朝食を欠食する子どもの割合 H22(1.6%) → H27(0%)

・学校給食における地場産物使用割合 H22(26.1%) → H27(30%以上)

周知から実践へ

- ・間断ない食育
- ・生活習慣病予防と改善
- ・共食

学校・保育所等において、家庭や地域と連携を深めつつ、十分な食育がなされるよう取り組む施策

1. 食に関する指導の充実
2. 学校給食の充実
3. 食育を通じた健康状態の改善等の推進
4. 保育所での食育推進

学校給食法(学校給食の根拠法)

(平成20年6月改正・平成21年4月1日施行)

第1条(法律の目的)

「この法律は、学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものであることにかんがみ、学校給食及び学校給食を活用した食に関する指導の実施に関し、必要な事項を定め、もって学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図ることを目的とする。」

「学校における食育の推進」が新たに規定

学校給食法第2条

学校給食の目標

1. 適切な栄養の摂取による**健康の保持増進**を図ること。
2. 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び**望ましい食習慣**を養うこと。
3. 学校生活を豊かにし、明るい**社交性及び協同の精神**を養うこと。
4. 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、**生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度**を養うこと。
5. 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、**勤労を重んずる態度**を養うこと。
6. 我が国や各地域の優れた**伝統的な食文化**についての理解を深めること。
7. 食料の**生産、流通及び消費**について、正しい理解に導くこと。

学校給食の役割

成長期にある児童生徒の心身の健全な発達に資する。

- ・栄養バランスのとれた豊かな食事を提供する
- ・健康の増進・体位の向上を図る。

食に関する指導を効果的に進めるための重要な教材

- ・給食の時間・各教科・総合的な学習の時間・特別活動等

地域の文化や伝統に対する理解と関心を深める。

- ・学校給食に地場産物を活用
- ・地域の郷土食や行事食を提供

高い教育効果

栄養教諭の役割

学校給食を活用した食に関する指導

第10条 栄養教諭は…

学校給食において摂取する食品と健康の保持増進との関連性についての指導

食に関して特別な配慮を要する子どもへの個別的な指導
その他、学校給食を活用した食に関する実践的な指導

学校給食を活用しつつ教育活動全体を通して食育を推進するため、**校長は「食に関する指導の全体的な計画」**を作成することと明示されている。

地域の産物を学校給食に活用し、地域の食文化、食に係る産業又は自然環境の恵沢に対する児童生徒の理解の増進を図る。

学校栄養職員は、栄養教諭に準じた指導を行うよう努めるものとする

学習指導要領における食育の位置付け

総則に食育が明記(小学校・中学校)

第1 教育課程編成の一般方針の3

学校における体育・健康に関する指導は、児童の発達段階を考慮して、**学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。特に、学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導については、体育科の時間はもとより、家庭科、特別活動などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めることとする。**

3 . 栄養教諭の果たす役割

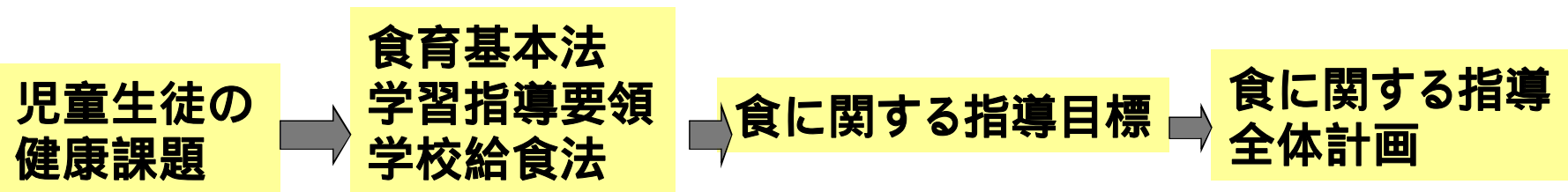
食に関する指導の全体計画作成の必要性

学校における食育の推進のためには、子どもが食について計画的に学ぶことができるよう、各学校において食に関する指導に係る全体的な計画が策定されることが必要であり、これを積極的に促進する。特に、その際には学校長のリーダーシップの下に関係教職員が連携・協力しながら、**栄養教諭が中心となって組織的な取り組みを進めることが必要である。**
食育推進基本計画 H18

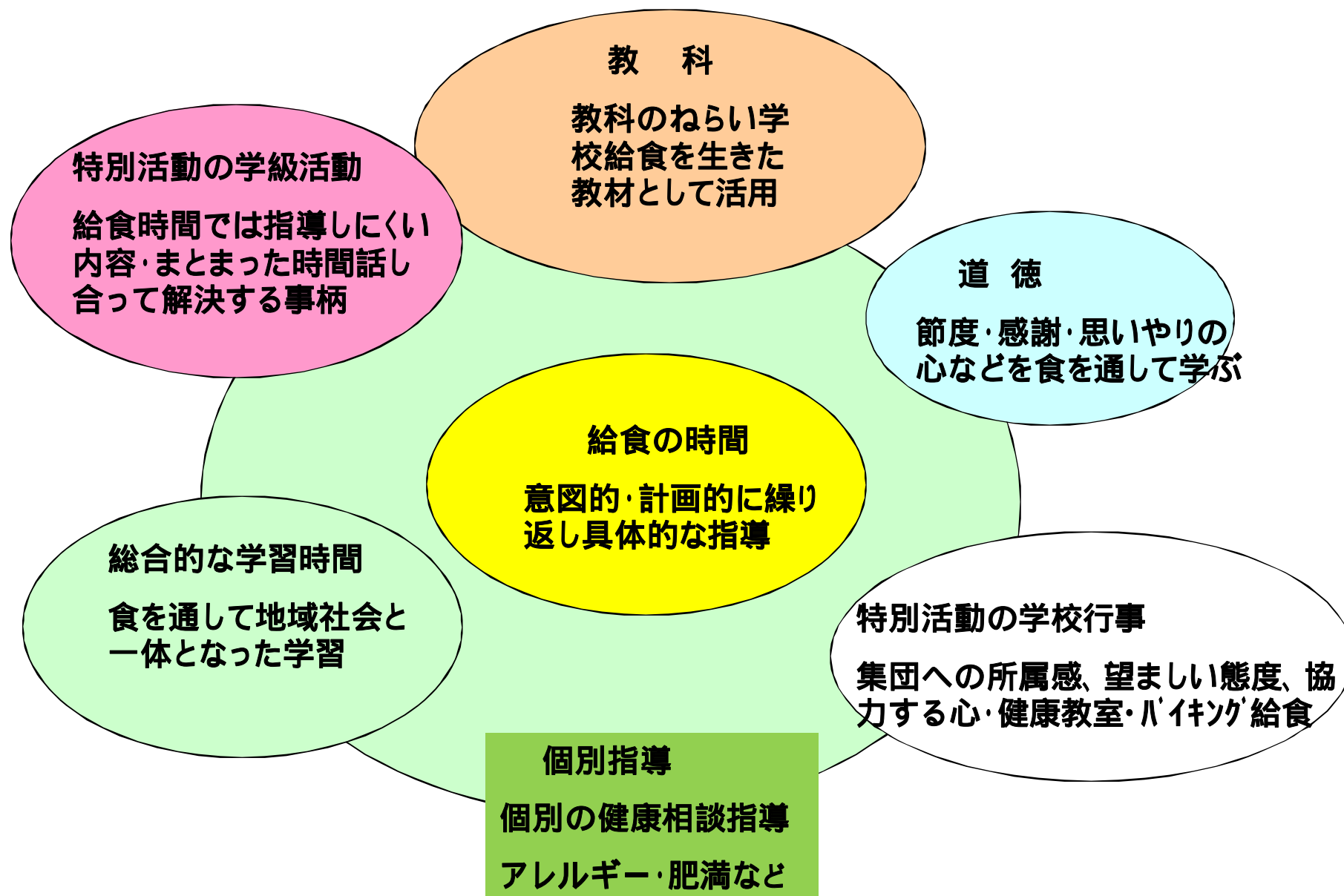
学校として推進する食に関する指導の全体像を明らかにする。

校内で共通理解を得るための資料となる。

各教科等において食育を位置付けた指導計画を作成する際に活用することによって、学校として組織的かつ継続的、体系的な指導が実現される。



食に関する指導の学校教育活動全体でのとりくみ



栄養教諭の職務の原点は教材となる献立作成



献立の年間計画作成

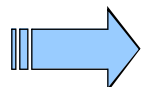
1. 学校教育目標や「食に関する指導」年間計画

(教科 特別活動 総合的な学習時間・給食時間
など)をふまえる。

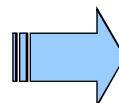
2. 学校行事を考慮する。(行事食・郷土食・地場産物)

3. 献立や食材の工夫。

献立計画



献立作成



献立の教材化

献立は、食育推進のための生きた教材

美味しく

安心して食べることができる

教育的配慮のされた

- 1) 栄養バランスのとれた魅力ある美味しい給食
- 2) 十分な衛生管理のもと安全安心な給食であること
- 3) 教科等と関連した献立作成となること
- 4) 選択できる献立の工夫を行うこと
- 5) 個に応じた献立の工夫を行うこと
- 6) 地場産物や郷土食を活用した献立の工夫を行うこと
- 7) 国際理解のための献立作成を行うこと

学校給食を生きた教材として活用した食に関する指導の展開

教材としての
機能を最大限
に！

1. 学級担任等との連携により、意図的に各教科等の指導内容と関連した献立作成を行うこと。
2. 献立のねらいを明確にした献立計画を学級担任等に示すこと等、学級担任等が教科等において学校給食を教材として活用しやすいよう配慮した取り組みを行うこと。
3. 学級担任・教科担任・養護教諭等と十分連携をとり、学校の教育活動におけるさまざまな情報等を献立作成に反映させていくこと。

「給食の時間における食に関する指導」と「給食指導」

給食の時間における食に関する指導

教科等で取り上げられた食品や学習したことを学校給食を通して確認させる

献立を通して、食品の産地や栄養的な特徴等を学習させる。

給食指導

給食の準備から片付けまでの一連の指導の中で、正しい手洗い、配膳方法、食器の並べ方、はしの使い方、食事のマナーなどを習得させる。

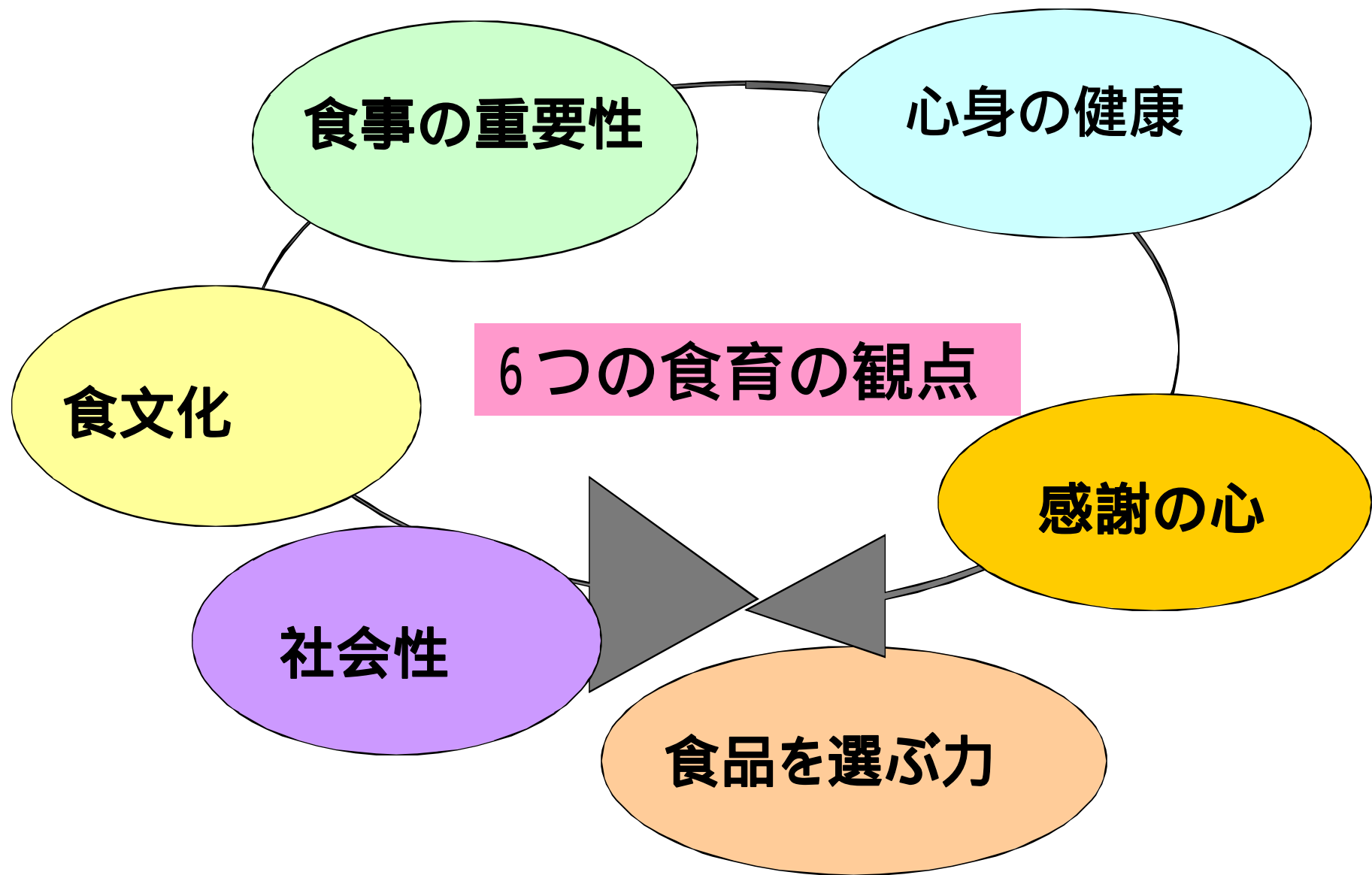
4 . 学校教育における食に関する指導場面

特別活動（学級活動）
教科

家庭・保健・社会・理科 など
道徳 給食の時間
総合的な学習の時間
給食の時間



学校における食に関する指導目標



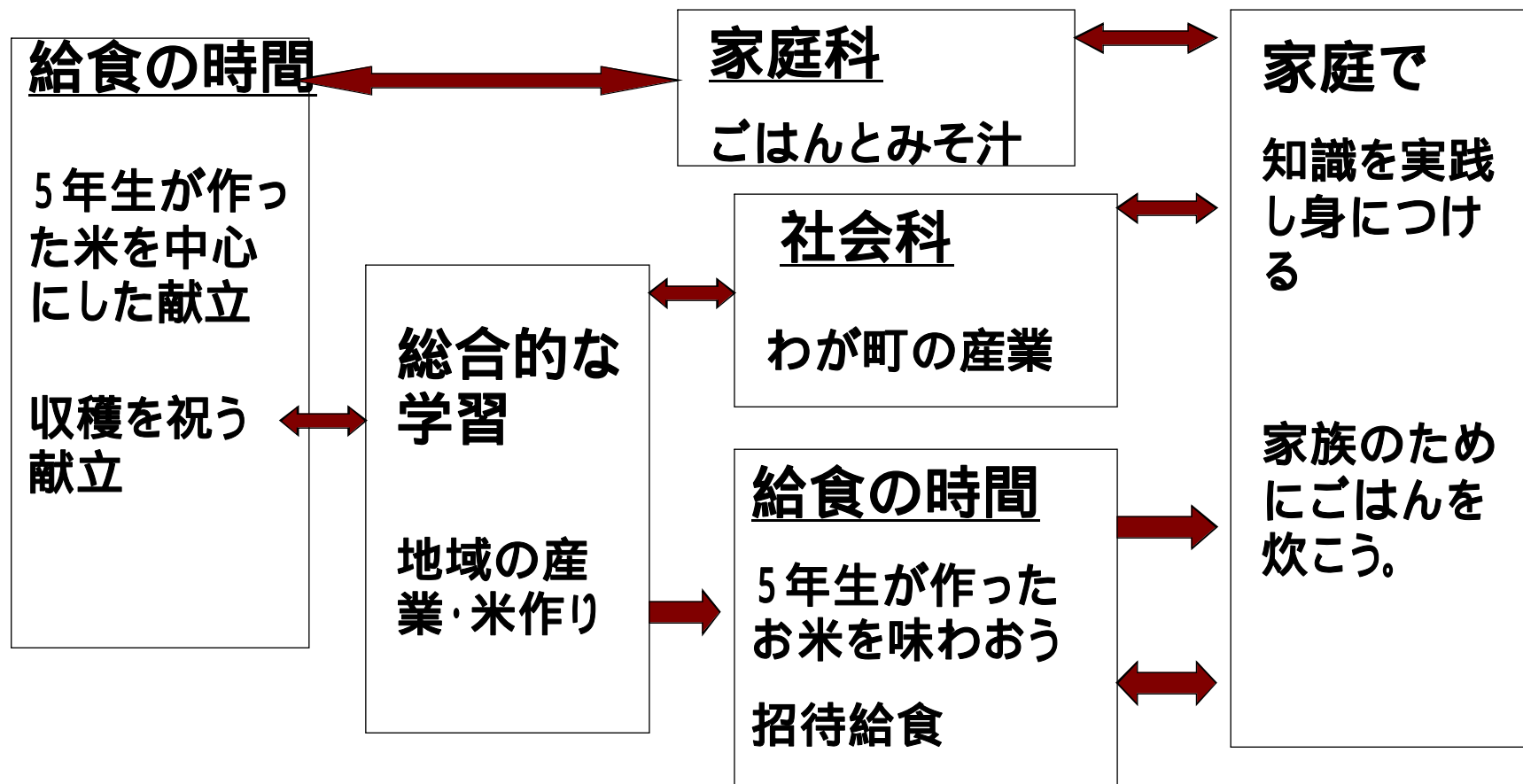






生きた教材

教科等と関連した学校給食



教科等における食に関する指導

家庭科等の学習の知識を実践し、力に変える活動

子どもだけで作る「弁当の日」

子どもたちは

自分の力発見 達成感

家族の中の役割発見

家族への感謝の心

家庭は

やればできる子どもの姿

ふれあいや対話

日常をふりかえる場







給食の時間における 食育

毎日繰り返し行われる
計画的・継続的な実践の場
具体性がある

1 . 実践活動を通して行われる。

望ましい
食習慣

2 . 習慣化を図ることができる。

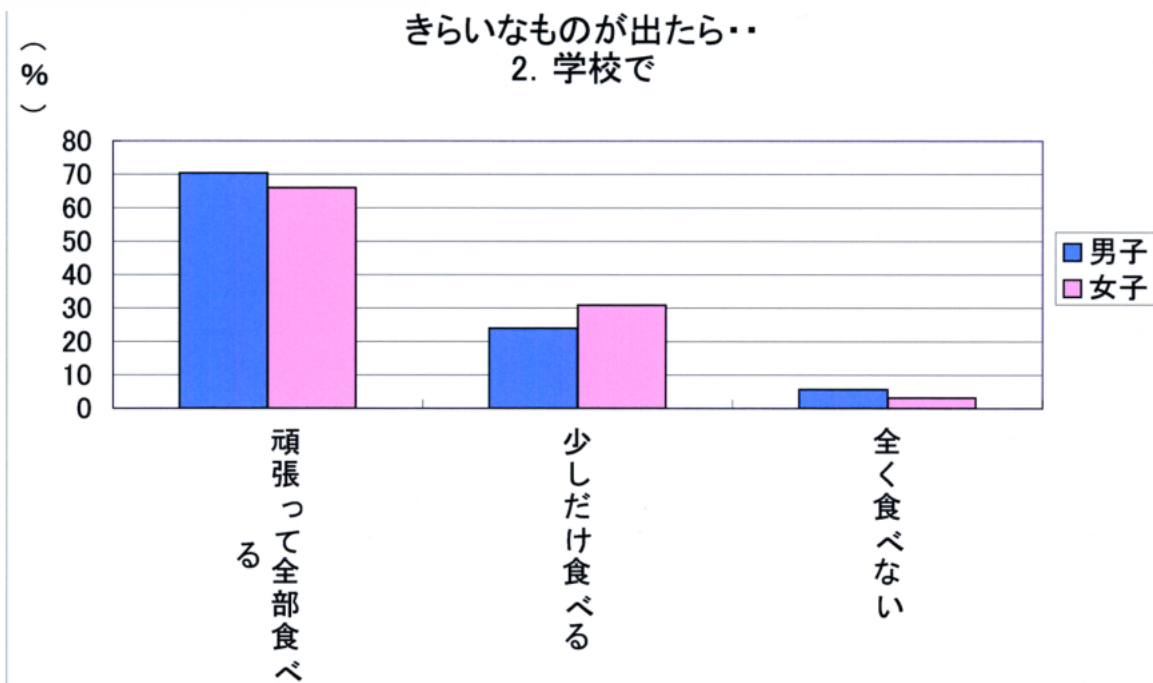
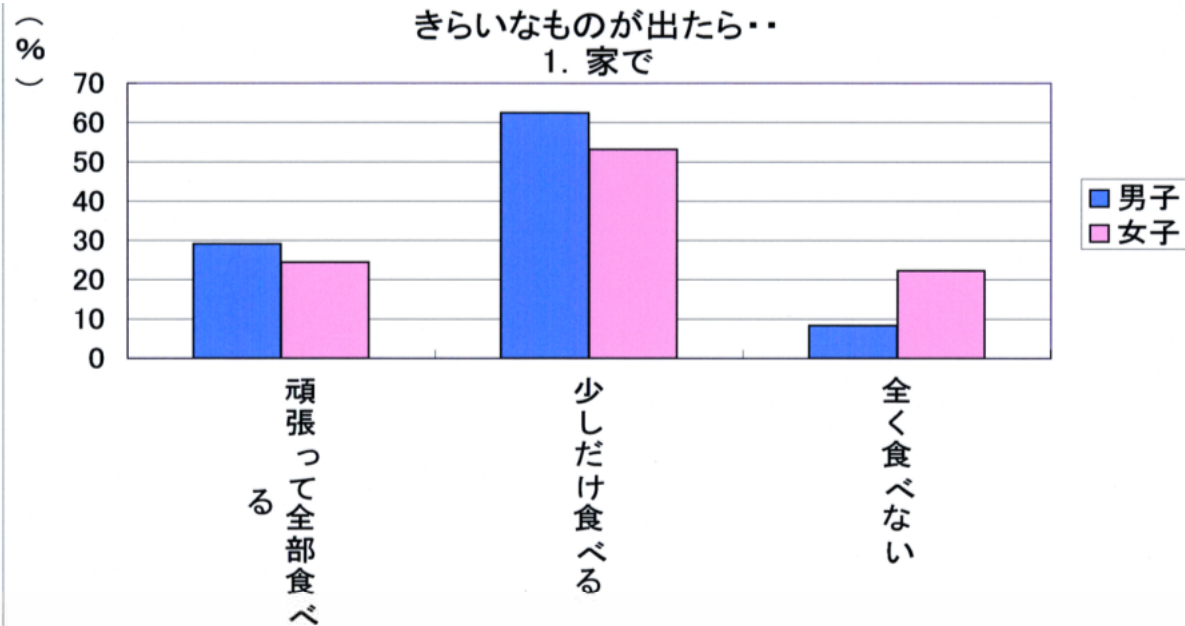
3 . 個に応じた指導が求められる。

食に関する
実践力

4 . 教科等の学習との関連が図られる。

給食の時間における指導



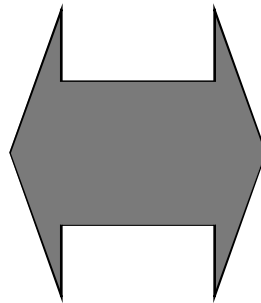


学校給食を生きた教材として活用する事例

学習意欲を高める。

身近な植物を育て成長の過程やそのつくりを調べる学習

< 小学校3年生 理科 「植物をそだてよう」 >



献立例

- ・ごはん・牛乳
- ・あゆの塩焼き
- ・**オクラ**のおかかあえ
- ・**ミニトマト**
- ・かぼちゃの含め煮
- ・そうめん汁

給食の献立を教材として

学習の内容を広げる。

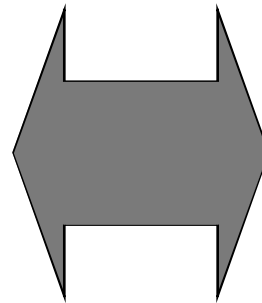
水産物に関する歴史的な背景や流通についての学習

＜小学校5年生 社会科「水産業のさかなな静岡県」＞

・私たちの食生活にどれくらい水産物が使われているか、給食や家庭の献立を調べる。

・地元の産業に興味・関心をもつ。

・郷土の食文化を知る学習へ発展させる。



献立例

・炊き込みごはん

・牛乳

・とび魚のかば焼き

・いんげんソテー

・きゅうりとわかめの酢の物

・すまし汁

給食の献立を教材として

より深く学ぶ。

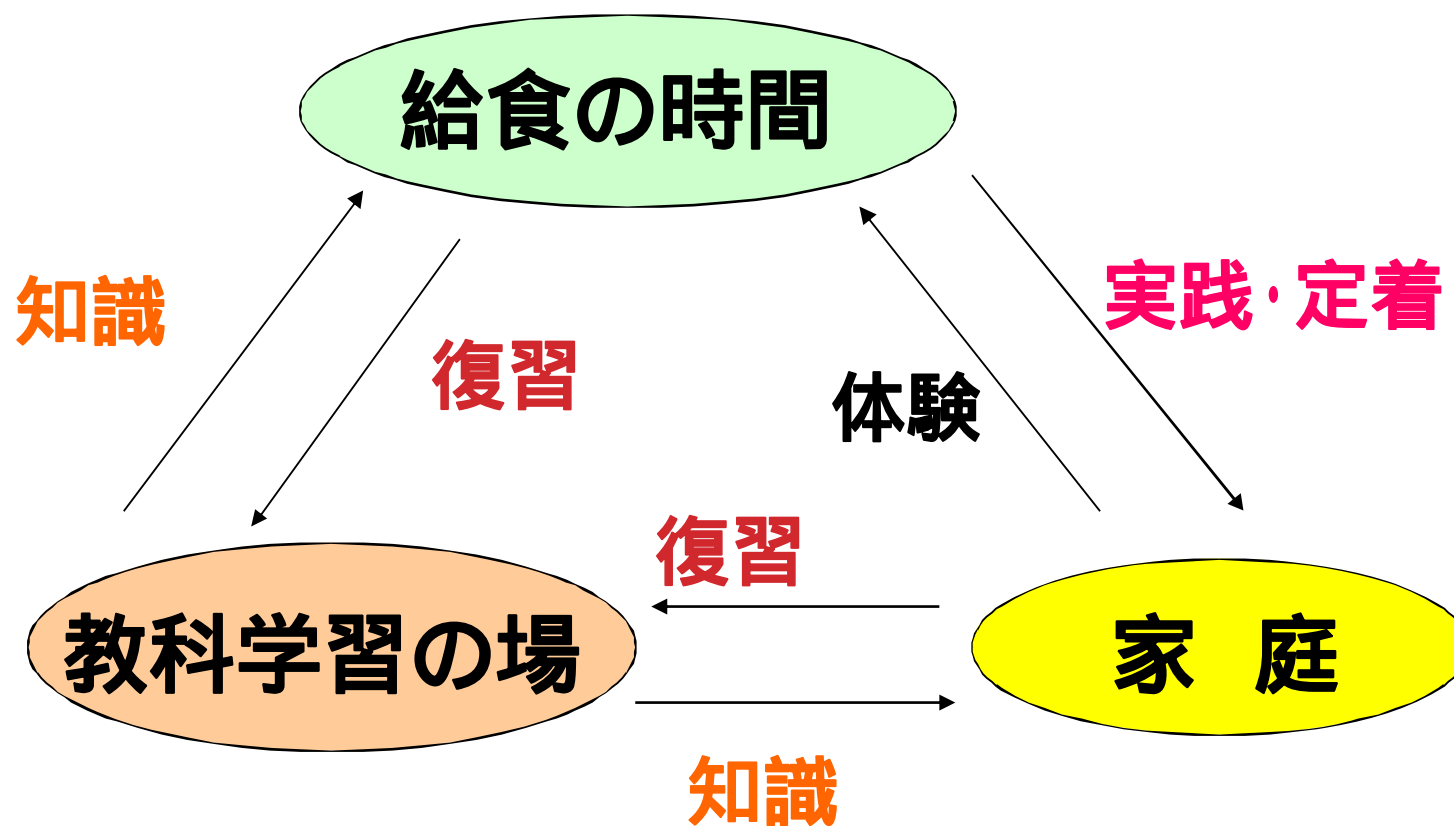
健康を保持増進させるために栄養バランスのとれた食生活の重要性について学ぶ。

< 中学校3年生 保健体育「食生活と健康」 >

- ・成長や健康に配慮した給食を食べることを通 して学習内容を再確認する。
- ・献立作成上の配慮を知る。
- ・家庭生活に生かすこと ができる。

5 教科等と関連した献立作成

食に関する指導の流れ



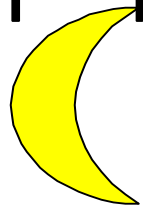
6 . 家庭・地域との連携による食育

学校を中心としてどのような子どもを育てたいのか、そのため、保護者・地域とどのような連携の取り組みを行うのか。

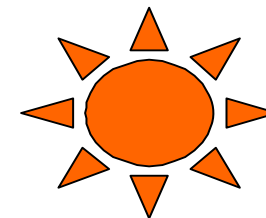
給食（食育）だより
給食試食会・食育研修会
PTA活動
料理教室 など



P T A と の 連 携



早寝・早起き・朝ごはん アグリ探検隊



八雲小学校PTA生活部・教養部連携の宿泊研修

H18.8.5(土)～8.6(日)



オリエンテーション



アグリパークの野菜をしらべよう





ズッキーニって
こんなに大きく
なるの？

- ・おもさは？
- ・食べ方は？

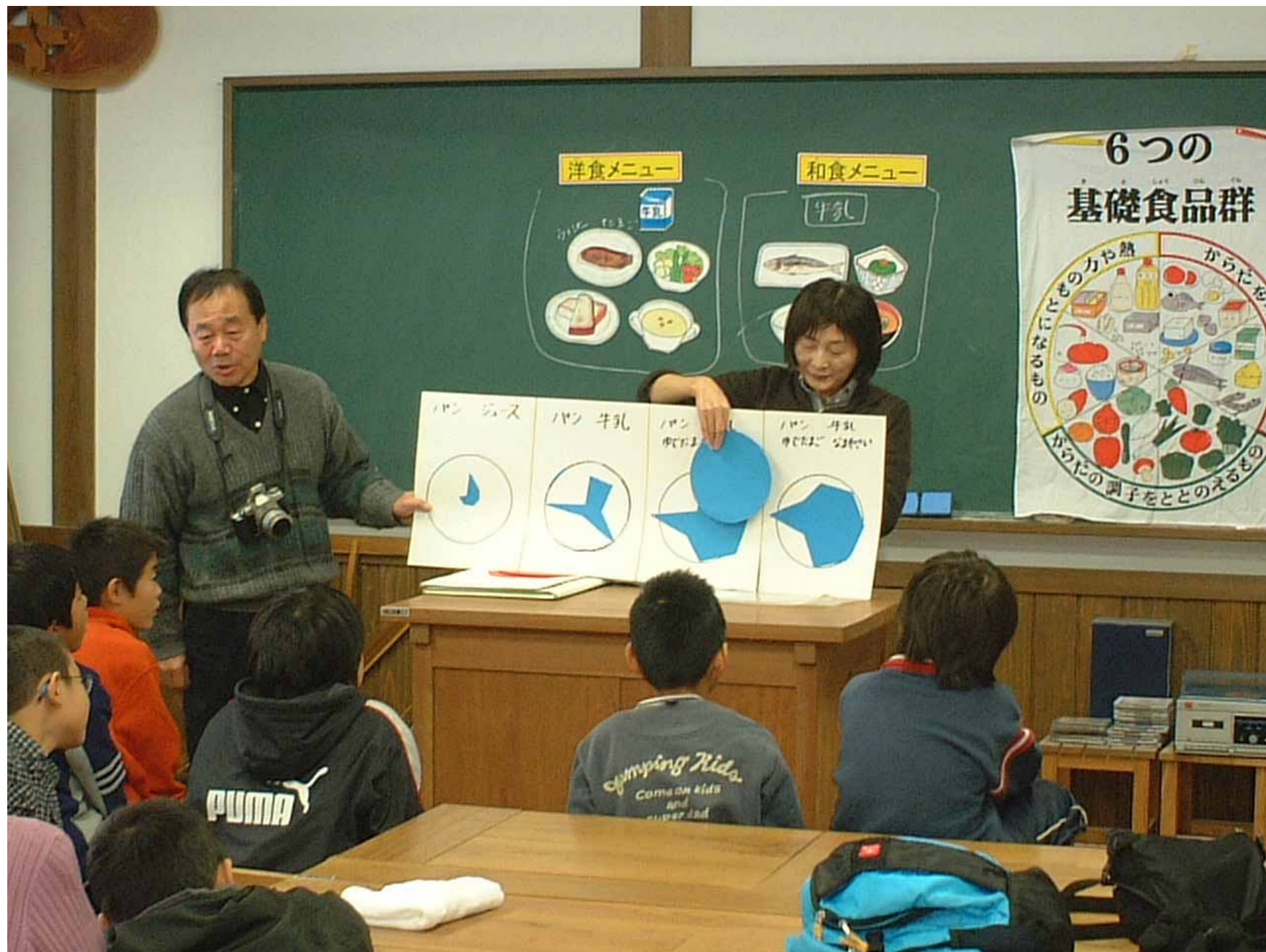
真夏の炎天下、いっぱい汗をかいてのアグリ探検。野菜を10種類以上見つけた。作っているおじさん、おばさんの話を聞いた。たくさん野菜をもらった。収穫できてよかった。ゴーヤやつるむらさきやモロヘイヤなどめずらしいやさいもあった。夏にかぶができていた。夏の野菜は色が濃く、栄養満点。農園で食べたトマトはおいしかった。テレビを見ない生活。山の朝は気持ちよかった。アグリのとれたて野菜で作った夕ごはんはんと朝ごはんはとてもおいしかった。これからは、少しは手伝おうと思った。

反省会の感想より



地域の教育力との連携





7 . 未来の食育の担い手として





8. 児童生徒は食に関する情報をどこから得ているか？

	男子(%)	女子(%)
学校給食の献立紹介など	33	30
テレビ	23	24
家族	18	21
給食(食育)だより	7	8
技術・家庭科	10	9
インターネット	5	3
先生	2	3
雑誌	1	1
友達・先輩	1	
部活動の指導者		
社会活動(公民館)		

給食無し集団
は、テレビ・雑
誌などマスコミ
からの影響大

(公社)全国学校栄養士協議会H23年度
調査結果(対象全国4730人の中学生)

学校や家庭での食育が、子どもたちに与
える影響は大きい

学 校

家 庭

食事の重要性 心身の健康
食品を選択する能力
感謝の心 社会性 食文化

家庭で実践

知識を力に

- ・家族の一員としての役割
- ・食事の準備やかたづけ
- ・たのしい食事の場づくり

教育活動

- ・食の知識を身につける
- ・自分の生活をふりかえる

学校給食

- ・望ましい食習慣
- ・栄養バランスのとれた食事

生活に生かす

健康的な生活習慣

- ・規則正しい生活リズム
朝食・ねる時刻・おきる時刻
- ・運動
- ・バランスのとれた食事

おわりに



ご静聴ありがとうございました。